

No. 28



発行日 令和3年2月28日
 発行 山潟地区コミュニティ協議会 広報部
 事務局 山潟会館内
 ☎ 025-286-0155
 FAX 025-286-0245
 新潟市補助事業

Myコミ協 やまがた

マスクの配布について

山潟地区コミュニティ協議会 会長 豊嶋直美

令和二年の春から、新潟市でも新型コロナウイルス感染症予防のため、休校や地域活動の自粛など様々な対策が求められました。令和三年になっても感染状況は収まらず落ち着かない日々が続いています。

当コミ協でも、これまでの活動方法とは異なる、感染予防に対応し、新しい活動が求められています。そんな中、昨年の十二月に地域の七十五才以上の一人暮らしの方と「やまがたお互いさま」に登録している方の合計百八十五名の方にわずかですが七枚入りのサージカルマスクと携帯用除菌シートを配布いたしました。私たちの「早くコロナが収束して普通の生活に戻りますように」また「皆様がお健やかに過ごしていただけますように」との思いを込めたものです。配布には民生・児童委員のご協力で届けるもの、郵送のもの二つの形となりました。また、民生・児童委員の皆様は、配布時の感染予防のアルコールも全員分用意いたしました。皆様にはとても喜んでいただけたと聞き、またコミ協にもお礼の手紙をいただき、配布して良かったと思っています。

快く協力いただいた民生・児童委員の皆様ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今後新たな活動に向かって皆様と一緒に考えながら、活動をしていく必要があります。ぜひとも皆様のご意見・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。



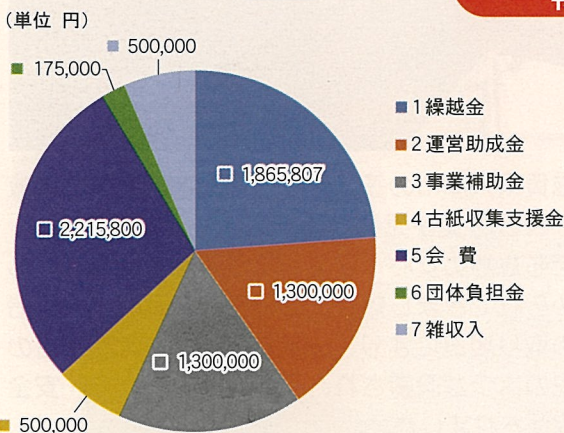
一人暮らしの75歳以上のお年寄りややまがたお互いさまに利用登録されている方に配布したマスク



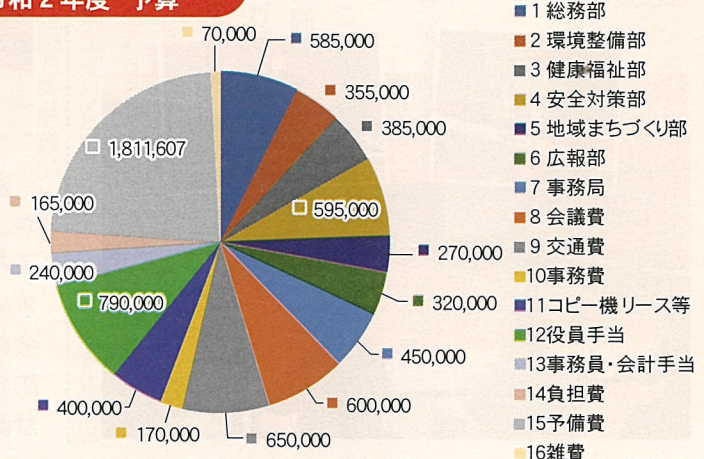
マスクを配布する方に用意した消毒液

山潟地区コミュニティ協議会 令和2年度 予算

収入



支出





山二ツ自治会地内二ヶ所は、山瀧中学校の生徒が通学に使っており、日が暮れると暗くて危険であり、設置の必要があると判断し取り付けたものです。桜が丘小学校プール裏は、丁字路となっている交差点で、街灯もなく暗くて危険であるため、設置が必要と判断しました。また、近くに電柱もないため、ポールを設置して防犯灯を取り付けることになりました。

環境整備部では、これからも地域の皆さんのご協力と要望をもとに、この山瀧地区がより住み良い地域になるよう心がけていきます。

本年度の事業活動

環境整備部長 馬場 吉一

環境整備部の主な事業は、各自治会の陳情を取りまとめ、現地調査をしたうえで、市長陳情を行うことです。また本年度の部単独事業としては、令和二年九月に、通学路における要望のありました防犯灯の新設を実施しました。山二ツ自治会地内二ヶ所と桜が丘小学校プール裏の一ヶ所の合計三ヶ所です。

令和2年度の要望活動・各種活動

姥ヶ山排水路の早急な整備を要望!

8月24日、山瀧コミ協の豊嶋会長はじめ美の里自治会及び姥ヶ山南自治会の両会長と共に、新潟市下水道部の時田部長と、亀田郷土地改良区の杉本理事長を訪ね、姥ヶ山排水路の早急な整備を要望致しました。

これについては、排水路の老朽化や、それに伴う悪臭・蚊の発生など衛生環境の改善、また、子どもたちの転落防止などの安全対策を目的に整備を求めるものです。



亀田郷土地改良区に緊急要望書提出



新潟市下水道部に緊急要望書提出



姥ヶ山排水路を視察

中原市長に令和2年度陳情書を提出!



令和2年12月21日、中央区役所の日根区長を訪ね、陳情書を提出

○要望項目

- 1、市道及び歩道の整備(蒲原中部大規模農道)
- 2、排水路の整備(高志1丁目4番・8番地内背割排水路)
- 3、排水路に架かる橋を含む道路整備(南長瀧地内)
- 4、①山瀧地区に選挙の期日前投票所の設置
②山瀧小学校投票所の入口までの動線整備
- 5、公共交通網の整備(バス路線の直通便増等)
- 6、国道49号線亀田バイパスの防音措置(弁天橋通2丁目)

自治会連絡会及び民生児童委員との情報交換会の開催

令和2年12月15日 山瀧会館 18時00分より

令和2年12月15日、自治会連絡会及び民生児童委員との情報交換会を開催致しました。

連絡会では、議題で令和2年度の市長要望の内容について説明。その直後に、弁天橋中央自治会から、「国道49号線の防音措置の検討について」の提案が成され、議論の結果、連絡会参加全自治会の賛成により、市長要望項目への追加が了承されました。



子どもたちの安心・安全が前進!

防犯カメラを6台設置 弁天橋中央自治会



滋賀県大津市の子どもたちが巻き込まれた事故や、西区の女子児童が巻き込まれた事件を機に、子どもたちの安心・安全対策が新潟市においても求められてきましたが、この度、弁天橋中央自治会の取り組みにより、山瀧小学校区内に、6台の防犯カメラが設置され、子どもたちの安心・安全が確保されました。

避難所開設・運営講習会

安全対策部長 佐々木 順司

令和二年十一月十四日山瀧会館二階ホールで、避難所開設・運営講習会を開催しました。参加者は十九自治会から三十五名が参加されました。講師は新潟市中央区役所総務課総務安全安全グループの担当者をお願いしました。

講習内容は、新潟市の避難所運営マニュアル初動編を中心として、避難所開設基準の説明、新潟市職員の体制、施設管理者体制の説明。初動対応は、気象庁が発表する情報の種類や避難所がある場所により異なる。行動の原則は、災害が発生した場合、自身及び家族の安全確保を最優先にすること。避難する際は、津波被害にあわないように避難経路に留意すること。(新潟市ハザードマップ山瀧中学校区版)を参考にすることなどが説明されました。

今後安全対策部は、安心安全な地域づくりを目指して、活動の強化を図りたいと思います。各自治会の一層のご協力をお願いします。





十一月十九日山瀧小学校の五年生五十四名の児童とともに、鳥屋野瀧に流入する排水路周辺や高速道路の側道のゴミ拾いを行いました。地域の宝である鳥屋野瀧には、不法投棄されるゴミ以外に、流入する排水路に風で飛ばされ落ちたゴミなども集まってくることが児童に説明してもらいました。

その後、ゴミを拾い始めたところ、ビン缶、ペットボトル、ビール類、タバコや空き箱、発泡スチロール箱、衣類、金属金具、家具類など大型不法投棄物が落ちており、児童のゴミを入れるビニール袋も足りず追加するほどでした。最後の集合場所では、多量のゴミに驚きながら写真撮影して解散。後日児童の感想文には、「ゴミの多さに驚いたことやゴミを捨てない、ゴミを発見したら拾うこと、鳥屋野瀧や地域を汚さないようにすること等が書いてありました。」

最後に、参加頂きました山瀧小学校の児童、鳥屋野瀧漁協、山瀧コミ協の皆様にご感謝申し上げます。

地域まちづくり部長 土屋 信雄

鳥屋野瀧清掃活動事業



恒例の「朝ごはん料理教室」が令和二年十一月二十一日に桜が丘小学校家庭料室を会場に行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限を設け、十八名の親子の皆さんが参加し、楽しく料理作りをしました。

(メニュー)

- シーチキンとレッドビーンズのカレー
- ごはん

近年の災害頻発状況を受け、ビニール袋で作るバッククッキングで調理しました。講師は、食生活改善推進委員山瀧グループの八名の皆さんで、丁寧に教えて頂きました。カレーは、カレールー・ミックスベジタブル・シーチキン等の具材をポリ袋に入れ、水を入れた鍋で加熱します。ご飯も同様に、ポリ袋にお米・水を入れて加熱調理しました。参加した皆さんは、初めて経験する調理方法に感心しながらも、これなら災害時などでも役立つねと納得していました。調理する中で、講師の食事と健康のお話もあり、有意義な時間となりました。次は試食ですがコロナ対策のため、お土産として家へ持ち帰り、家族で美味しく味わうことにしました。短時間でしたが、充実した料理教室となりました。(広報部取材)



山瀧コミ協主催 朝ごはん料理教室

「やまがたお互いさま」事業

健康福祉部長 田 才 すみ子

「やまがたお互いさま」事業は、誰もが住み続けたい、元気で安心な山瀧地区をめざしてスタートし、今年度七年目になりました。この事業は、主に「三捨て、草取り、雪のけ等のお手伝いが必要な方が利用登録をしていただき、利用登録された方からお手伝いを依頼された際には、事前にボランティア登録をされた方とのマッチングをし、成立したらお手伝いに伺うという活動です。

今年度は、夏は猛暑、冬には豪雪となり、一人暮らしの方や高齢者等には厳しい一年になりました。そのため、草取りや雪のけ依頼は例年になく沢山あり、活動の必要性を更に実感しました。この状況から、必要とされているこの活動を継続していくために、七年間の活動を振り返る機会にもなりました。当初に登録していただいたボランティアの皆様は、登録時のボランティア可能内容を改めて確認していただき、現状に合ったボランティアをしていただくことになりました。また、登録者が所属している自治会に大きなばらつきがある事もわかりました。

これらの課題を解決していくために地域の方々にもご理解ご協力をお願いします。利用者もボランティアも通年募集をしています。募集チラシ等は山瀧会館をはじめ各所に配置しています。

(問い合わせ先)

☎070・6485・1665

(三月三十一日までの対応時間)

午前八時～午前十時



熱闘「チョコレート争奪囲碁将棋大会」

山瀧囲碁将棋クラブ 代表世話人 富 樫 純一

当初、令和二年三月八日に予定していたチョコレート争奪囲碁将棋大会。直前になってコロナウイルス感染症予防のため、山瀧会館が閉鎖され中止となりました。初めての企画内容だっただけに残念な思いでしたが、半年後の九月十三日に満を持して二十三名の参加者で開催。コロナ対策のため、皆マスクマンになり、半年前に購入していたチョコレートをかけて熱戦を展開しました

好評のため三ヶ月後の十二月十三日に二回目の大会を開催。二十六名が参加してチョコレートをかけて、再び熱戦を繰り広げました。従来型の優勝者を決める大会では得られない高揚感でした。

将棋は参加者が多いためA・Bとクラス分けをし、各六局対戦し、勝利した数だけチョコレートを獲得出来るのです。全勝すればチョコ六枚、一戦一戦に熱が入ります。午前十時からスタートして午後四時まで充実した一日でした。

優勝カップも賞状もない大会でしたが、笑顔が残る大会でした。次回はカップラーメン争奪大会も面白いかも。

毎月第二、第四日曜日は山瀧会館で午前十時から午後四時まで教室開催します。皆様の参加をお待ちしています。



第二十二回 鳥屋野潟の恵みを考え食する会

総務部長 工藤 良子

今年は今和三年二月七日、「コロナ禍の中、感染回避のため縮小し、形を変えての開催となりました。ご来賓、各自治会長、鳥屋野潟漁協等の総勢四十三名と参加人数を絞り「勉強会」を中心とした会となりました。豊嶋コミ協会長の挨拶で始まり、日根中央区長様の「このコロナ禍の中、感染防止をしっかりとやりながら、こうして会を継続実施されることは有り難い。」とのお言葉に、出席者一同とても励まされ嬉しく感じました。また「鳥屋野潟整備の進捗状況について」を県振興局よりお借りした資料とパワーポイントを使って、当会長より説明があり、湖岸堤・公園・市道整備事業について学びました。続いて新潟市環境部の菅原様より「鳥屋野潟の水質について」を講義いただきました。潟の水質は改善しつつあり、より良くするために水資源を汚濁や環境破壊から守りましょうと結ばれました。また、鳥屋野潟の貴重なお話を鳥屋野潟漁協の増井組合長様や大野様よりお聞きする事ができ、潟の将来を考え、潟への思いを共有することができました。帰



りには、漁協さんのご厚意で鯉のうま煮のお土産をいただきました。今年は寒いこともあり鯉の脂のりがよく、最高の味でした。来年は、このイベントがコロナ禍の収束でいつもの開催内容に戻ることを祈ることも、ご参加の皆様、漁協さんのご協力に感謝申し上げます。

鳥屋野潟がつてんプロジェクト

地域まちづくり部 副部長 大野 彦 栄

名前の由来は、鳥屋野潟の発展を目的とした取り組みなので、鳥屋野潟の「潟」、発展の「展」をつなげて「がつてんプロジェクト」となりました。NPO法人新潟水辺の会が、二十八年に立ち上げ運営しています。鳥屋野潟の利活用を提案し官・学・民の協力を得ながら活動を行っています。山潟地区コミュニティ協議会も、地域の宝である鳥屋野潟の発展には大いに賛成するところであり、鳥屋野潟漁協の方と共にイベントに協力しています。

昨年は、鳥屋野潟を利用した「水害時の防災訓練」に、地域まちづくり部として参加しました。新型コロナウイルス感染予防のため、人数に制限がありました。清五郎一本松前の浅瀬で、水害時に水中を歩く時の実体験や、対岸の公園までの間、約五百mにロープを張って舟や筏(いかだ)に乗って避難、救助訓練、エンジンメカホンという直径1mもある大きなメカホンを使った通信訓練、土嚢づくりなどを体験しました。その他にもカヌーやEボートの乗船体験、潟の水面に竹筏を浮かべ「空心菜水耕栽培」なども行っています。清五郎潟の南西部(天寿園裏)に基地があります。「空心菜水耕栽培」にはオーナー制度があり、申込みをすると、自分の空心菜コンテナを春から秋にかけて五回くらい収穫することができます。山潟会館入口掲示板横にオーナー募集のパンフレットがありますのでご利用ください。



お問い合わせ・連絡先
NPO法人新潟水辺の会
・ガッテンプロジェクトチーム
担当：相楽(そがら)
☎025-264-3191
E-mail: info@nigata-mizubenokai.org